

公益社団法人 日本義肢装具士協会

平成 30 年度 事業 報告

自 平成 30 年 5 月 1 日

至 平成 31 年 4 月 30 日



I. 公益目的事業

1 義肢装具をはじめとした福祉用具を必要とする者の生活の質の向上に資する事業

1-1 講座事業

本事業では、国民に対し、義肢装具等の福祉用具を必要とすることが非日常ではないことや、義肢装具等の福祉用具を使用しながら良質な日常生活を送ることに対する理解を深め、対象者の日常生活の質の向上を目的として実施した。

1) 市民公開講座(学術大会の開催に関する事業)

① 介護ロボットと義肢装具の連携

- ・ 日にち：平成 30 年 7 月 22 日
- ・ 場 所：札幌コンベンションセンター（第 25 回日本義肢装具士協会学術大会開催時）

2) 障害者、義肢装具士の啓もうに関する事業

小学生や中学生など一般者を対象に、障害の理解、パラアスリートとこれを支援する義肢装具士に関する理解を目的に交流イベントを開催した。

① 道徳地区公開講座

- ・ 日にち：平成 30 年 7 月 7 日
- ・ 場 所：西東京市立 保谷中学校
- ・ 時 間：1 コマ（50 分）
- ・ 対 象：1 年生～3 年生（約 500 名）、保護者、教職員
- ・ 内 容：パラリンピアンによる講演

講師：高橋 和廣氏（パラアイスホッケー選手：平昌パラリンピック日本代表）

② 義肢装具体験イベント

- ・ 日にち：平成 30 年 9 月 8 日
- ・ 場 所：西東京市立 保谷中学校
- ・ 時 間：1 時間目～3 時間目（1 コマ：50 分）
- ・ 対 象：1 年生、のびる学級（計 188 名）、保護者、教職員
- ・ 内 容：講義「障害のある方々と義肢装具士の関わり」、義肢装具の装着体験、義足ユーザーとの交流

③ オリ・パラ教育推進支援プログラム（その1）

- ・ 日にち：平成 31 年 2 月 2 日
- ・ 場 所：品川区立 三木小学校
- ・ 時 間：1 時間目～4 時間目（1 コマ：45 分）
- ・ 対 象：5、6 年生（計 88 名）、保護者、教職員
- ・ 内 容：講義「義肢装具ってなに？ パラリンピックってなに？」、義足ユーザーとの交流、義肢装具体験（指型採型、筋電義手体験、義肢装具装着体験、義肢装具触知体験、義

足組み立て体験)

④ オリ・パラ教育推進支援プログラム（その2）

- ・ 日にち：平成 31 年 3 月 12 日
- ・ 場 所：品川区立 豊葉の杜学園
- ・ 時 間：10 時 50 分～12 時 40 分（1 コマ：50 分）
- ・ 対 象：中学校 1 年生（124 名）、教職員
- ・ 内 容：講義、義足ユーザーとの交流、模擬義足体験

⑤ 出張授業（その1）

- ・ 日にち：平成 30 年 11 月 16 日（金）
- ・ 場 所：東京シューレ葛飾中学校
- ・ 時 間：13:00～14:30
- ・ 対 象：中学生（18 名）
- ・ 内 容：講義

⑥ 出張授業（その2）

- ・ 日にち：平成 31 年 1 月 31 日
- ・ 場 所：葛飾区立葛美中学校
- ・ 時 間：14 時 25 分～15：15 分
- ・ 対 象：中学 1 年生（177 名）
- ・ 内 容：講義「義肢装具と障がい者」

1-2 災害時支援事業

本事業では、国内外の自然災害等の被災地域において被災生活を送る者への生活支援及び義肢装具等の福祉用具の供給に関する支援を各行政機関や関連団体と連携して実施した。

1) JRAT の構成団体としての取り組み（大規模災害被災者支援に関する事業）

常任理事会

- ・ JRAT 戦略会議、および被災地への福祉用具支援に関する検討会への出席（平成 30 年 5 月 15 日、6 月 22 日、9 月 12 日、10 月 29 日）

北海道支部

- ・ DoRAT 会議への出席（平成 30 年 5 月 23 日、9 月 4 日、10 月 9 日、12 月 3 日、平成 31 年 3 月 15 日、4 月 23 日）
- ・ 北海道胆振東部地震における地震対策会議出席（9 月 7 日、9 月 8 日、9 月 9 日、9 月 11 日、9 月 17 日）
- ・ 北海道胆振東部地震における調整本部会議出席（9 月 12 日、9 月 16 日、9 月 17 日）
- ・ 平成 30 年 6 月 10 日 Do はぐ（北海道作業療法士学会にてワークショップ参加）
- ・ 平成 30 年 7 月 6 日 DoRAT 研修班打ち合わせ出席
- ・ 平成 30 年 7 月 28 日 JRAT ブロック会議出席
- ・ H30 年度災害時のリハビリテーション支援研修会 1 月 26、27 日にて「防災グッズの紹

介」のプレゼン

南日本支部

- ・ 平成 30 年 9 月 19 日 熊本県地域リハ支援センター研修会兼災害リハ研修会出席
- ・ 平成 30 年 11 月 7 日 福岡 JRAT ミーティング出席
- ・ 平成 31 年 2 月 7 日 熊本県災害リハビリテーション推進協議会総会及び研修会出席

2 義肢装具をはじめとした福祉用具に関する学術・技術の向上、研究開発及びその成果の普及・振興に資する事業

2-1 学術大会に関する事業

本事業では、義肢装具等福祉用具に関する学術を普及・発展させ、臨床に役立つ知識と技術を向上させる目的で、教育講演並びに対象者に関する医療、リハビリテーション及び日常生活面での援について臨床経験又は学術経験を有する者の研究成果発表、及び最新機器等の情報提供を行った。

1) 第 25 回日本義肢装具士協会学術大会の開催

- ・ 日にち：平成 30 年 7 月 21 日、22 日
- ・ 場 所：札幌コンベンションセンター
- ・ 参加人数：正会員 380 名、購読会員 20 名、学生会員 40 名、一般 54 名、養成校以外の非会員学生 4 名、医療系有資格者 13 名、大会招待者 7 名、協賛企業招待（出展）217 名、一般市民・義肢装具ユーザー 55 名
- ・ 展示企業：35 社
- ・ 内 容：
 - 一般演題 80 演題
 - 大会長講演『義肢装具の進化と真価』
 - 招待講演 1『Enhancement of Orthotic Management to Adolescent Idiopathic Scoliosis』
 - 招待講演 2『The NU-FlexSIV Socket : Development, Research and Disseminations』
 - 教育講演 1『再生医療の現状』
 - 教育講演 2『機能的電気刺激と装具について』
 - シンポジウム『義肢装具の進化と真価』
 - パネルディスカッション『大規模災害における PO の役割』
 - 特別講演『ヒューマンエラーはなぜ起きる？』
 - 市民公開講座『介護ロボットと義肢装具の連携』
 - 生涯学習セミナー『自己評価 ～自分を客観視するために～』

2-2 研修セミナーに関する事業

本事業は、義肢装具士が義肢装具等の福祉用具に関する最新技術又は知識を学び、臨床において従来から実施している医療技術を応用発展することで、対象者へより良質な医療技術の提供を実現することを目的とする。

1) 研修セミナーの開催

セミナー数：7回

参加者総数：589名

- ①『生活を支える義肢装具・今後の義肢装具士の役割と課題 第1弾 医療における脳卒中リハビリテーションと生活期における脳卒中リハビリテーション』
 - ・期 日：平成30年8月25日
 - ・会 場：仙台医健専門学校 第二校舎
 - ・参加者：69名
- ②『多職種を理解する 第5弾 フットケアと義肢装具士』
 - ・期 日：平成30年9月29日
 - ・会 場：札幌市教育文化会館
 - ・参加者：48名
- ③『坐骨収納型ソケット実技セミナー 第10弾ファイナル！』
 - ・期 日：平成30年10月6～8日
 - ・会 場：人間総合科学大学 岩槻キャンパス
 - ・参加者：10名
- ④『スポーツ義足の基礎知識』
 - ・期 日：平成30年10月21日
 - ・会 場：ハートピア京都
 - ・参加者：91名
- ⑤『側弯症と装具療法セミナー 採型から適合まで』
 - ・期 日：平成30年11月24日
 - ・会 場：今池ガスビル ダイヤモンドルーム
 - ・参加者：149名
- ⑥『先輩のテクニックを盗め！ ～側弯症装具 採型適合編～』
 - ・期 日：平成31年2月3日
 - ・会 場：熊本総合医療リハビリテーション学院 講堂
 - ・参加者：106名
- ⑦『装具適合に必要な評価学 変形性膝関節症に対する評価と装具のバイオメカニズム』
 - ・期 日：平成31年3月10日
 - ・会 場：武蔵野大学 有明キャンパス
 - ・参加者：116名

2-3 新たに資格を取得した者に対する教育セミナー（生涯学習に関する事業）

本事業は、新たに義肢装具士の資格を取得した者に対し、義肢装具士の業務について理解を深め、義肢装具士が対象者にとって医療技術を習得した専門家としての支援者になるための育成カリキュラムを提供する。

1) 生涯学習システム基礎プログラムの実施

セミナー数：6回

参加者総数：93名

① 東日本支部

- ・ 期 日：平成30年5月27日
- ・ 会 場：国立障害者リハビリテーションセンター 本館 4F 大会議室
- ・ 参加者：30名

② 北海道支部

- ・ 期 日：平成30年6月10日
- ・ 会 場：かでる 2.7 740 会議室
- ・ 参加者：7名

③ 中部日本支部

- ・ 期 日：平成30年6月17日
- ・ 会 場：専門学校日本聴能言語福祉学院
- ・ 参加者：19名

④ 西日本支部

- ・ 期 日：平成30年6月17日
- ・ 会 場：神戸医療福祉専門学校三田校
- ・ 参加者：24名

⑤ 南日本支部

- ・ 期 日：平成30年7月8日
- ・ 会 場：熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科教室
- ・ 参加者：8名

⑥ 東北支部

- ・ 期 日：平成30年7月15日
- ・ 会 場：TKP 仙台西口ビジネスセンター
- ・ 参加者：5名

3 国際協力及び貢献に資する事業

3-1 国際支援活動事業

本事業は、福祉用具に関する技術及び使用に関して発展・開発途上にある国又は地域の人々に対する支援として、海外在住の対象者(国籍問わず)に対し、日本の福祉用具に関する最新医療技術を提供する義肢装具士の活動に対して助成するもので、義肢装具士の技術及び臨床経験を活かして、海外の対象者の日常生活の質の向上及び福祉用具の普及・発展を図るための、国際協力・国際貢献事業である。

1) 国際支援活動助成事業

- ・ 平成29年度 国際支援活動助成『モンゴル国ウランバートル市で下腿義足講習会及び製

作』に関する報告書受理

- 平成 30 年度 国際支援活動助成申請『トーゴ人切断者のスポーツ義足及びランニング技術支援』の審査

3-2 関連団体との連携・支援事業

本事業では、医療技術関連団体と連携協力し、国内外の福祉用具に関する医療技術の普及・発展に貢献できるよう活動を行う。公益法人及び公益性のある団体が実施する学術、教育、講演、国際支援などの活動に対し、学術・技能向上のための提携交流、支援活動、助成等を行うことがある。

1) ISPO 世界大会 2019 への支援(国際交流及び国際支援に関する事業)

- 日本組織委員会への参画と委員の派遣（会長、事務局長、顧問）
- 世界大会への賛助団体としての参画

2) 義肢装具関連団体との協力・協働事業の実施

- 義肢装具関連 3 団体協議会への参画
- 日本義肢協会各支部との連携、合同セミナーの実施
- 香港義肢矯形師學會との学術交流、双方の学術大会へ人的派遣
- 帝京科学大学・豊田輝准教授の研究グループとの「義肢装具士と理学療法士との臨床における連携活動に関する調査」の共同研究

4 義肢装具をはじめとした福祉用具に関する刊行物の発行及び調査研究事業

4-1 学術誌の発行

福祉用具に関する学術論文集として、学術大会等で発表され、その研究成果について討議された義肢装具士の優れた研究論文及び義肢装具士の職域に関連する学術情報を特集記事として提供する学術誌を発行する。

1) PO アカデミージャーナルの発行

- 26 巻 1 号 平成 30 年 6 月 『機能的足底装具』
- 26 巻 2 号 平成 30 年 9 月 『断端周径変化に対するソケットのアプローチ』
- 26 巻 3 号 平成 30 年 12 月 『感性工学と補装具』
- 26 巻 4 号 平成 31 年 3 月 『他業種との交流～コラボレーション～』
- 26 巻特別号 平成 30 年 6 月 『第 25 回日本義肢装具士協会学術大会講演集』

4-2 白書の発行

- 『義肢装具士白書 2019』の企画

II. その他の事業（相互扶助等事業）

1. WEB サイトでの会員限定の情報提供

- 義肢装具士求人情報の掲載

- 理事会・委員会等の議事録の掲載

2. 各支部(地域)での会員管理や運営方法についての会議

- 北海道支部 平成 30 年 6 月 10 日
- 東北支部 平成 30 年 6 月 17 日、9 月 22 日、平成 31 年 2 月 23 日
- 東日本支部 平成 30 年
- 中部日本支部 平成 30 年 12 月 15 日
- 西日本支部 平成 30 年 5 月 28 日
- 南日本支部 平成 30 年 6 月 2 日

3. 会員表彰

1) 第 4 期最多単位取得者表彰

- 阿部 薫（新潟医療福祉大学）

Ⅲ. 理事会、総会等の開催

1. 理事会の開催

平成 30 年 6 月 22,23 日 平成 30 年度 第 1 回理事会（本郷・義肢会館）
 平成 30 年 9 月 22 日 平成 30 年度 第 2 回理事会（テレビ会議）
 平成 30 年 12 月 22 日 平成 30 年度 第 3 回理事会（テレビ会議）
 平成 31 年 3 月 30,31 日 平成 30 年度 第 4 回理事会（本郷・義肢会館）
 平成 31 年 4 月 20 日 理事会開催の承認に関するメール審議
 平成 31 年 4 月 23 日 平成 30 年度 第 5 回理事会（テレビ会議）

2. 常任理事会の開催

平成 30 年 5 月 12 日 （テレビ会議）
 平成 30 年 6 月 9 日 （本郷・義肢会館）
 平成 30 年 7 月 20 日 （札幌コンベンションセンター）
 平成 30 年 8 月 10 日 （テレビ会議）
 平成 30 年 10 月 14 日 （テレビ会議）
 平成 30 年 11 月 23 日 （テレビ会議）
 平成 30 年 12 月 15 日 （テレビ会議）
 平成 31 年 1 月 20 日 （テレビ会議）
 平成 31 年 2 月 17 日 （テレビ会議）
 平成 31 年 3 月 17 日 （テレビ会議）
 平成 31 年 4 月 13 日 （テレビ会議）

3. 社員総会の開催

3-1 定時社員総会

平成 30 年 7 月 22 日 平成 29 年度計算書類承認の件等